

平成27年度（2015年度）第2回池田市図書館協議会会議録要録

日時：平成27年11月15日（日）午前10時～12時00分

場所：池田市立図書館2階会議室

出席者：（委員）石田会長、齋藤副会長、牛嶋委員、藤原委員、彭委員、丸山委員、
山田委員、伊東委員

（事務局）加藤図書館長、東本石橋プラザ館長、他職員4名

傍聴者：なし

議 題

1. 平成27年度上半期事業報告
2. 今後の図書館運営の方向性について
3. 移動図書館業務の見直しについて

会 長 それでは、平成27年度上半期の事業報告を事務局よりお願いします。

<事務局より平成27年度上半期の事業報告>

会 長 ICタグ貼付作業について質問はございますか。

委 員 来年度で終了ですね。合計で何万冊くらいありましたか。

事務局 37万冊くらいです。

会 長 中央公民館・池田民俗資料館・池田市立図書館3館連携事業について質問はございますか。

委 員 「がんがら火の絵を描こう」への応募が1点だけというのは残念でしたので、次回このような企画があれば早めの宣伝が必要ですね。学校と連携して小中学生にも応募してもらったら良いのではないのでしょうか。

事務局 夏休み期間で学校へのPR不足でしたので、今後は実施時期を検討します。

委 員 がんがら火祭りは、同じ時期に広報やフリーペーパーでも特集が組まれていたので、タイムリーな企画で良かったと思います。

委 員 今後は講演会なども企画される予定ですか。

事務局 公民館や社会教育の関連課と相談して検討します。

会 長 POPコンテストについて質問はございますか。

委員 10代対象というのが、ちょうど図書館に来てほしい年代向けの催しで良かったです。関心を持っている人は多いと思いますので、今後は学校と連携して部活に組み入れるなど、工夫を凝らして続けてほしいです。

事務局 今回は夏休みに入ってしまった、学校等へのPRが不十分でした。今後は開催時期を検討します。

委員 賞品が出たのですか。

事務局 市内の書店に図書券を寄贈していただき、最優秀賞には千円分、優秀賞二名に五百円分を進呈しています。

委員 スポンサーをつけた企画が面白いですね。表紙を作る企画なども良いと思います。

委員 応募者の年代はいかがでしたか。

事務局 応募者は10代前半が多かったです。

会長 石橋プラザの開館日拡大について質問はございますか。

委員 職員はローテーションでされているのですか。

事務局 職員を増やし、ローテーションを組んでいます。

委員 開館時間は同じですか。高齢者は朝が早いので、早い時間の開館が望まれていると思います。

事務局 開館時間の延長には増員が必要ですので、今後の検討課題とします。

会長 来館者数が増加している要因は、開館日が増えたからですか。

事務局 リピーターの利用者が毎日来館することで来館者数が増加している一因となっています。また、夜8時まで開館していることから会社帰りの人も利用できます。併設の市民サービスコーナーも市役所が閉まっている土日祝や平日の5時15分から6時まで証明書の発行ができるので便利です。

会長 広域利用について質問はありますか。

委員 メリットは池田市の方が大きいですね。

委員 川西市は駅前に図書館があるので、図書館に行った人がついでに買い物をするなど、経済効果につながっているのではないのでしょうか。

事務局 お互い支障は出ていませんので、このままの条件で本格実施になる予定です。また現在茨木市、吹田市、島本町を含む7市3町の広域利用が検討されています。

委員 川西市は駅から近く漫画も所蔵しているので、池田にない本も借りられて便利です。

委員 川西市よりも箕面市の利用が多いですか。

事務局 石橋プラザを利用する隣接地域の人が多いこともあって箕面市の方が多いです。

会長 次に今後の図書館運営の方向性についてですが、事務局より説明をお願いします。

<事務局より説明>

会長 今後は移動図書館の廃止と指定管理者制度の導入を検討することになりますか。移動図書館は、平成29年度に廃止する予定ですか。

事務局 来年度は運行する予定で予算要求をしております。平成29年度末から平成30年度廃止に向け、代替案として公共施設等を利用して予約本の受け渡しをするサービスを考えております。利用状況の推移からみると移動図書館の利用は減少傾向にあり、利

用がほとんどないステーションもあります。また移動図書館の車が耐用年数を過ぎ、新たな車両のリース、委託業者選定が物理的、金額的にも困難となっており、廃止せざるを得ない状況となっています。

委員 プラザの開館が増えたことで利用が増加したように、利用者は固定化したサービスポイントを求めています。既存の施設を利用し、有償ボランティアを活用することで、今までの移動図書館の貸出冊数を上回るようなサービスが提供できる可能性もあります。指定管理者制度の導入も利潤追求ではなくきちんとしたノウハウを保持した団体を慎重に選定しなければなりません。

会長 移動図書館の廃止は決定していますか。
事務局 廃止予定ですが、時期や方法を検討しています。数カ所でもサービスポイント等を作らなければ廃止できないと考えています。人権交流センター、伏尾台の第1コミュニティセンター、北豊島プラザ、消防署他公共施設を利用した予約本の受け渡しができる場所の検討を進めてまいります。新たな設備や人的配置は出来ませんので、移動図書館の職員が公用車で出向き、短時間場所をお借りしてノートパソコンで予約本の貸出しを行う予定です。

委員 地域コミュニティが小学校区ごとにあり、それぞれ有人無人の事務所があります。事務所が無人の所としては、五月丘地域コミュニティでは月2回カフェを開いていますし、細河地域コミュニティでは野菜販売をしています。北豊島地域コミュニティは有人です。このような地域コミュニティ推進協議会に打診し、コミュニティの事業として組み込む方法を検討してみたいかがでしょうか。

委員 利用者は高齢者が多く、敬老会館をよく利用しています。敬老会館に返却ポストを置くだけでもサービス向上につながると思います。また高齢者は福祉バスも利用しているので、福祉バスの巡回する場所をサービスポイントとして検討してみたいかがですか。サービスポイントがあれば移動図書館は廃止してもかまわないと思います。

委員 福祉バスの巡回場所でもある総合福祉センターは、子どもから高齢者まで利用するのでサービスポイントに適した場所ではないでしょうか。移動図書館を利用している年代が利用している場所だと思っています。

事務局 総合福祉センターには先日国際交流センターが発足し、図書館からも洋書絵本などを貸出しています。今後は多言語のおはなし会を開催するなど連携した行事を行う予定です。サービスポイントまではいかないかもしれませんが、図書館サービスの向上につなげていきたいと考えています。

委員 福祉バスは何カ所巡回していますか。

事務局 バス停は多いです。利用者の多い所、少ないところがあります。敬老会館、総合福祉センターは利用が多いです。

委員 移動図書館が出来た当初、とても便利で嬉しかったことを覚えており、なくなるのは寂しく感じます。サービスポイントには敬老会館や総合福祉センターのような移動図書館の利用者層と年齢が合っている場所が最適です。地域の子育て支援で活動しているホップくん、わたぼうしなどと連携した子どもへのサービスも視野に入れ、市の施

- 設だけでなく、民間の色々なボランティアとの協力体制が必要だと思います。
- 委員 サービスポイントで予約本の受取りだけでは満足できない利用者も多いと思います。インターネットなどの情報を持たない人に向けての情報提供を配慮する必要があるのではないのでしょうか。
- 事務局 現在も発行している新着案内資料の冊子を置いたり、壁面のようなスペースがあればおススメの本などのお知らせも掲示できます。
- 委員 川西市は移動図書館がない代わりに公民館図書室が市内 10 か所あり、週 3 日の開館日で時間も短いですが、本が置いてあり予約本の受け取りが出来ます。有償ボランティアで運営しているようですので、このような運営方法を調査してみたいでしょうか。
- 委員 時間帯を限って開館する場合は開館時間も考慮した方が良いと思います。移動図書館のステーションを近隣の住人だけでなく塾に通う子どもたちが利用していたケースもあります。地域のコミュニティから情報を仕入れ、学校の近くであれば子どもたちが借りに来られる時間帯などもリサーチした方が良いと思います。
- 委員 最近は図書館の意義が変わってきたように感じます。本を検索して予約し、受け取るだけで、図書館に来て語らうなど、人のつながりが希薄になっています。
- 委員 活字離れが懸念されます。本を読む人が減り、パソコンやスマートフォンで文字を打つことで漢字が読めても書けない人が増えています。
- 会長 指定管理者制度の導入について質問はございますか。
- 委員 司書は専門的な仕事だと認識していますが、図書館の運営に司書は不可欠ではないのですか。
- 事務局 司書資格は免許ではないので運営には資格がなくても問題はありません。しかし選書やレファレンスに違いは出てきます。指定管理業者を選定する場合は現在行っているサービスを網羅できる図書館運営を熟知した業者に移譲しなくてはならないと考えています。
- 委員 図書館はこれ以上民間委託してはいけないと思います。行政は常にコストしかしか考えておらず、文化人の発想が欠如しているように感じます。図書館の運営には本来お金がかかるものです。
- 委員 学校図書館は以前図書室と呼ばれていました。司書を置いて常時開館していることで図書館と呼べるようになります。池田・豊中・箕面は司書を全校配置しているので図書館として機能しています。図書館は常に開いていることが最も大事なことで、市立図書館も同じです。市民は図書館を見守り、文化的な機能のない貸本屋になってしまうことを防止しなければなりません。
- 委員 指定管理者制度の導入について、以前は時期尚早との答申を協議会で提出しましたが、今回また議題に上がってきたのは、市の方針が導入方向に傾いているということですか。
- 事務局 将来的に検討しなければいけない課題となっています。導入するとしても図書館全体か、カウンターだけになるのか、また図書館には運営事業と管理事業がありますので、

運営事業だけを委託するのかなど検討しなければなりません。

委員 前回の協議会の答申では、指定管理制度にしないで民間のノウハウを活用し、予算を抑えてサービスを向上することを目標としましたが、本当に予算面をカットして図書館の活性化を図ることができるかが難しい課題ではありますね。

事務局 指定管理制度導入の可否は今後の検討課題となりますのでよろしくお願いたします。また、移動図書館の代替案は次回以降提示させていただきます。

会長 そのほかに議案はありますか。

事務局 市民がわくわくしながら集い、出会う楽しい図書館を重点課題としていますが、この課題について、ボランティアや自習室の活用などの中でご意見やご提案があればお聞かせ下さい。

委員 国際交流センターに各国の絵本を置いているとのことですが、図書館に近いのでそこから図書館に来てもらい、交流できる場所があると良いのですが。海外からの子どもたちは増えていますか。

事務局 アジア系の方が増えていると聞いています。中国、韓国の方や、ダイハツで働いているインドネシア、ベトナムの方が多いようです。外国の方の図書館利用促進をめざして、国際交流センターと連携して図書館案内の翻訳や原書絵本と日本語版の読み比べをするおはなし会を企画中です。しかし、図書館に所蔵している原書絵本はほとんどが英語でアジア系言語が少ないため、現在少しずつ受入して準備を進めている段階です。

委員 国際交流センターの運営は市の職員がされていますか。

事務局 全員職員です。中国語、英語、ベトナム語が話せる職員がいます。

会長 それでは本日はこれにて閉会といたします。次回は2月14日開催といたします。